

しもつけの環境【概要版】

・ ・ ・ 下野市環境状況報告書 ・ ・ ・

令和 6 年度版（令和 5 年度実績）

このリーフレットは、下野市環境基本条例と下野市環境基本計画に基づき、下野市の環境状況や環境基本計画の進捗状況などを皆様にお知らせする報告書として作成した【しもつけの環境 令和 6 年度版】の概要版として取りまとめたものです。

更に詳しい取組などをご覧になりたい方は、【しもつけの環境 令和 6 年度版】を市のホームページからダウンロードしていただくか、環境課の窓口配布をご利用ください。



しもつけ環境市民会議
マスコットキャラクター
エコ皮皮

下野市環境基本計画

環境基本計画(第一次計画)は、環境の保全及び創造に関する目標、施策の大綱、施策を総合的・計画的に推進するために必要なことを定めた環境分野における最も基本となる計画として平成 25 年 3 月に策定し、平成 30 年 3 月に中間見直しを行いました。第一次計画期間中には、記録的な大雨などの異常気象の発生、地球温暖化防止に向けたパリ協定の締結、持続可能な開発目標の採択など環境を取り巻く状況は大きく変化しています。これらの変化に対応し、住みよい下野市をつくるべく、令和 14 年を年次目標とする「第二次下野市環境基本計画」を策定しました。

◆めざす環境像

豊かな自然と共生し、安心・安全に暮らせる持続可能な環境のまち しもつけ

環境基本計画が目指す環境像の「持続可能な環境のまち しもつけ」の実現にあたっては、豊かな自然と共生し、安心・安全して暮らせるまちづくりを基本に、環境負荷の少ない脱炭素・循環型社会を、市民・市民団体・事業者・市が連携・協働して、ともに築き上げていく必要があります。

第一次計画の基本目標を踏まえ、環境分野別に基本目標とその実現に向けた取組の方向や目標を示し、一体的に進めていきます。

基本目標 1

再エネ利用や脱炭素社会づくりが進められるまちづくり



再生可能エネルギー利用を推進し、カーボンニュートラルの実現を目指します。

カーボンニュートラルの実現

令和 5 年 10 月 29 日に開催された下野市産業祭にて、「下野市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。「ゼロカーボンシティ」とは、2050 年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを目指す旨を、首長自らがまたは地方自治体として公表した地方自治体を指します。市民・市民団体・事業者・市が一丸となり、温室効果ガスの排出抑制の推進に取り組んでいます。



基本目標 2

環境にやさしい資源利用や 3R が進む循環型社会のまちづくり



3R の普及によるごみの減量・資源化や食品ロス対策を進め、資源循環型社会の実現を目指します。

ごみゼロ社会の形成

徹底したごみの分別と再資源化の取り組みを見学する「リサイクルバスツアー」を開催しました。市内で排出されたごみ（資源物）がどのように処理され、再資源化されていくのか学習することで、リサイクルに関心を持ち、ごみ減量意識を高めました。

（見学先：南部清掃センター及びリサイクルセンター）



適切な廃棄物処理の促進



家庭から出るごみの分別状況を調査するため、組成調査を行いました。燃えるごみの中にどのような分類のものが入っているか確認し、食品廃棄物及び食品ロス、製品プラスチックの混入量及び混入割合を把握しました。事業者への分別徹底並びに市民への周知を実施しました。

基本目標 3

豊かな自然と共生し、安全・安心して暮らせるまちづくり



自然の恵みを守り、持続可能な活用を図り、自然とのふれあいが楽しめ、災害や公害のないまちづくりを目指します。

自然豊かな里地里山の保全と再生

トウサワトラノオは下野市東根地内に生息しています。

絶滅危惧種トウサワトラノオの保全地について、R5 年度中に草刈を 3 回、除草剤散布 3 回、保全地内除草 2 回、清掃 12 回、水入れ・水切り各 1 回を実施しました。

トウサワトラノオ

※環境省における絶滅危惧種、最高ランクの「絶滅危惧Ⅰ類」に指定されています。サクラソウ科の多年草植物で、開花時期の 5 月頃には、白く可憐な花を見ることができます。名前の由来は、中国で多く生息することから、同国を意味する「唐（トウ）」と湿地を表す「サワ」、さらに花の咲き方が「虎の尾」に似ており、この名が名付けられたとされています。

また、環境保全会による生き物調査を実施しました。



自然が育む良好な環境とのふれあいの増進



市内の小中学校で薬師寺跡エゴマ栽培や国分時跡落ち葉さらい、小学校干瓢むき体験などの清掃活動や体験学習を実施しました。

自然とのふれあいや食の大切さを学ぶことにより、環境に対する意識の向上を図り、実体験に夜まなびとなり、深く考えながら学習できる機会を持つことを目的に、各学校で独自の取り組みを進めています。

安全で安心して暮らせる快適で良好な生活環境

工業団地排水及び家庭雑排水による影響について、水質を調査することにより、水質汚濁の状況を把握しています。測定地点7地点で水質検査を行い、うち6地点で環境基準達成しました。令和5年度は下坪山工業団地調整池でpHについて基準値超過しました。今後も調査を継続して水質状況を注視していきます。

工業団地調整池等の水質調査結果

単位：mg/l (pHを除く)

		pH (5.8~8.6)	BOD (25)	SS (50)	窒素含有量 (120)	リン含有量 (16)	亜鉛含有量 (2)
下坪山工業団地	R5. 8月	9.6	3.7	11	3.4	0.1未満	0.1未満
	R5. 10月	8.8	4.3	14	4.5	0.1	0.3
	R5. 12月	8.7	13	22	11	0.3	0.1
	R6. 3月	9.0	12	47	22	0.5	0.3
西坪山工業団地	R5. 8月	7.0	12	25	1.8	0.2	0.1未満
	R5. 12月	7.3	3.8	8	4.4	0.3	0.1未満
柴工業団地	R5. 8月	7.1	3.3	10	2.6	0.2	0.1未満
	R5. 12月	6.8	5.4	8	1.8	0.1	0.1未満
石橋第3工業団地	R5. 8月	7.8	3.2	3	3.5	1.1	0.1未満
	R5. 12月	7.6	13	16	4.5	0.7	0.1未満

※ () 内の数字は基準値

基本目標4

環境行動が進み、ともに築く環境のまちづくり



一人ひとりが環境を考え、自らのライフスタイルを見直し、環境にやさしい行動が進められる社会を目指します。

地球温暖化対策環境教育・学習の推進、環境保全行動の普及

「ごみの減量化」をテーマに、小中学生を対象としたポスターコンテストを実施しました。テーマを大きく設定したことにより、様々な視点から関心を持つきっかけを作ることができました。受賞作品は産業祭で表彰され、その後広報やホームページへの掲載及び市イベントブースでの展示を実施し、多くの市民の方の目に触れることで更なる啓発を図ることができました。【応募件数 649件】



【小学校高学年の部】
国分寺小4年生の作品



【小学校低学年の部】
祇園小3年生の作品



【中学校の部】
石橋中1年生の作品

環境交流・連携の促進

人と自然が共生した持続可能な環境都市“しもつけ”を目指して」を目指す環境像として、「しもつけ環境市民会議」と下野市の共催で、毎年「しもつけ環境フェア」を開催しています。

令和5年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努め、令和5年12月10日から12月15日に下野市役所で「消費者まつり」と同時開催し、市民団体と連携し環境保全活動に関する情報を発信することができました。

【団体数：市民団体6、事業所5、その他2】



「しもつけ環境市民会議」は正会員20名、賛助会員6団体1名で構成されています。年4回の運営委員を実施し、定期的な意見交換を行ったり、参加する「産業祭」や「しもつけ環境フェア」の説明・報告を行ったりしています。令和5年度の環境フェアでは、パネル展示、環境かるた、ごみ分別クイズなどの実施により、市民会議の活動について周知させることができました。

しもつけ環境市民会議に参加しませんか？

「しもつけ環境市民会議」は、もっと住みやすい環境を目指して活動している個人・市民団体が、情報を共有化しお互いの活動を支えあう下野市全体の環境に関するネットワークを作るため、また、個人や団体、企業と行政が、協働により環境の保全や創造に取り組むプロジェクトをコーディネートするための組織です。あなたの環境保全活動をより充実したものにするために、「しもつけ環境市民会議」に参加してみませんか？

■活動内容

2か月に1回程度、運営委員会を開催し、各団体や市民の皆様からいただいた情報や提案の協議などをするほか、四つの部会を設置し、それぞれ活動しています。

■会費

- 個人 500円 ○ 任意団体・NPO団体等 1,000円 ○ 事業所・法人 3,000円
- 賛助会員（個人）一口 500円
- 賛助会員（任意団体・NPO団体等）一口 1,000円
- 賛助会員（法人・行政団体）一口 5,000円

【お問い合わせ】

〒329-0492 栃木県下野市笹原26 下野市市民生活部環境課

電話 0285-32-8898 FAX0285-32-8609

E-mail kankyou@city.shimotsuke.lg.jp